

著者紹介

(掲載順)

菊地 順 きくち・じゅん

1955年生まれ。東北大学文学部卒業、同大学院文学研究科博士課程後期中退、東京神学大学大学院（修士）修了、米国エモリー大学大学院（Th. M.）修了。博士（学術、聖学院大学）。現在、聖学院大学政治経済学部教授、同チャプレン、聖学院キリスト教センター所長。

【著書】『信仰から信仰へ』（日本伝道出版）、『とこしなえのもの』（同）、『永遠の言葉—〈キリスト教概論〉』（編著、聖学院大学出版会）、『ティリッヒと逆説的合一の系譜』（聖学院大学出版会）ほか。

古谷野 亘 こやの・わたる

1954年生まれ。立教大学大学院社会学研究科応用社会学専攻博士後期課程中退。保健学博士（東京大学）。立教大学、桃山学院大学、東京都老人総合研究所、北海道医療大学等を経て、1999年より聖学院大学教授。現在、聖学院大学心理福祉学部特任教授。専門は社会老年学。

【主な著書】『実証研究の手引き—調査と実験のすすめ方・まとめ方』（共著）、ワールドプランニング、1992。古谷野亘・滝波順子『新セルフチェック基礎介護技術—根拠から理解して身につける』、中央法規出版、2008。古谷野亘・安藤孝敏編著『改訂・新社会老年学—シニアライフのゆくえ』、ワールドプランニング、2008。

平 修久 たいら・のぶひさ

1955年生まれ。1978年東京大学都市工学科都市計画コース卒業。1987年コーネル大学都市及び地域計画学科博士課程修了、1988年同大学同学科修士取得。1990年同大学同学Ph. D（都市及び地域計画学）取得。1978年～1990年（社）海外コンサルティング企業協会（この間、（株）パシフィック・コンサルタンツ・インターナショナルに2年間出向）、1991年～2000年（株）富士総合研究所。2000年より聖学院大学政治経済学部政治経済学科教授。現在、聖学院大学副学長、政治経済学部政治経済学科教授。

【著書】『東京はこう変わる』（共著、東洋経済新報社、1995年）、『成熟都市東京のゆくえ』（共著、ぎょうせい、1998年）、『首都圏時自体の攻防』（共著、ぎょうせい、2001年）、『情報化で蘇る都市』（共著、ビジネス教育出版、2002年）、『地域社会に求められる人口減少対策』（聖学院大学出版会、2005年）、『もうひとつのスマートグロース』（三恵社、2009年）『アメリカの空き家対策

とエリア再生』(学芸出版社、2020年)¹など。

小林 茂之 こばやし・しげゆき

東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士課程博士論文提出資格取得、単位取得退学。2003年より聖学院大学人文学部所属。2012-2013年度ケンブリッジ大学クレアホールコレッジ客員研究員として英国ケンブリッジに滞在。2013年より同コレッジ終身メンバー。2019年度名古屋大学大学院人文学研究科客員研究員(英語学)。歴史言語学・通時統語論・比較統語論専攻。主な研究テーマは、古英語・中英語における言語変化。初期英語のキリスト教文献を中心に、文献学にも研究を進めている。

久保田 翠 くぼた・みどり

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了、同大学大学院博士課程単位取得満期退学。和洋女子大学・青山学院大学大学院非常勤講師、神戸女学院大学音楽学部専任講師を経て、現在聖学院大学人文学部児童学科准教授。日本作曲家協議会理事。

【著書】『こどもたちへ メッセージ2019①世界の街角編：28人の作曲家によるピアノ小品集』(共著、カワイ出版、2019年)他。

【作品】CD『later』(ombrophone records、2020年)他。